

研究員の技術支援における暗黙知のデジタル化

研究期間：令和4年度

研究目的

当研究所における様々な技術支援情報の格納、集計及び客体のニーズ分析を目的に、経年での情報格納及び統計的な情報分析が可能なデータベース（以下「DB」という。）を作成した。さらに、検索性向上のため、同義語の揺らぎ及び類義語を含めたDB検索を可能とするシステムを開発した。

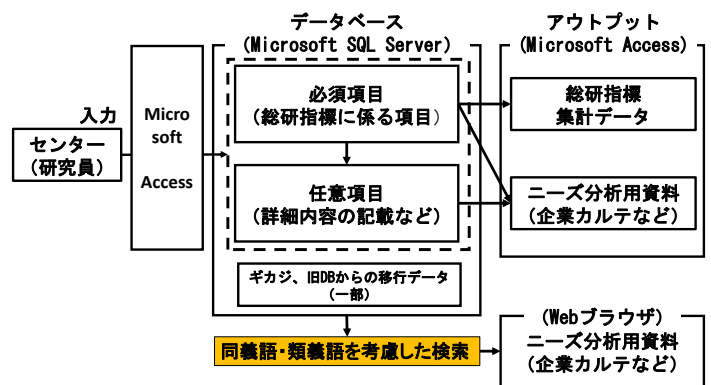
研究内容

格納する技術相談情報を整理し、テーブル構造を再構築した新たなDBを作成するとともに、旧DB及び技術的課題解決支援事業（ギカジ）の内容をDB内に移行した。

また、検索性向上を図るため、次の機能を新たに追加した。

1 入力されたキーワードとあらかじめ登録したキーワードを自動的に連結し、DBから検索可能とした。

2 自動的に連結するキーワードは、あらかじめ登録した表記の揺らぎを統一する同義語と、キーワードと関連性が強い類義語とした。



システム概要図

研究成果

研究員が個別の知識や経験により入力する同義語や類義語から必要な検索キーワードを統合し、統計データが出力可能なシステムを開発した。

今後、このシステムを利用することにより過去の技術相談事例を検索する際の時間短縮が望める。また、研究立案時のニーズ分析等において、検索性の向上が見込まれる。

技術支援データベース検索

検索結果画面のスクリーンショット。検索キーワードを入力する欄があり、検索ボタン（さび）がある。検索結果は「検索結果数：17」と表示され、以下の表が示されている。

合計	同義語	類義語	法人番号	法人名称	概要	詳細	対応日	職員
3	0	3		株式会社	耐震性試験において、		2023-06-	
					について			
					外産関連			

技術相談の検索結果例

社名	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
株式会社										5
株式会社			1					6	4	
株式会社							1		3	
株式会社									1	3
株式会社							2	2	2	
株式会社							1		2	1
株式会社									2	1
株式会社									2	
株式会社			1	2	1				1	
大字		3	3	3	1	1			1	1

企業別利用件数（ギカジ年度別）